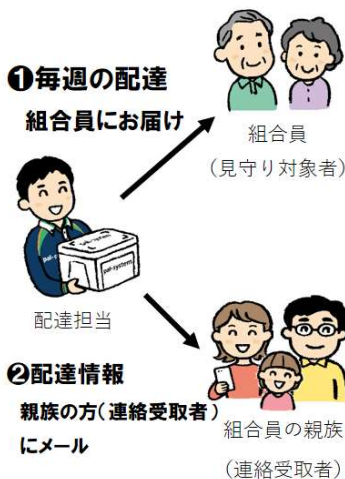


板橋区をはじめ都内 53 自治体および 東京都と見守り協定を締結しています

日々の配送業務の中で地域を見守る

地域とのつながりが薄れる昨今、体調の悪い高齢者などが周囲に気づかれず、最悪の場合、孤独死につながることも…。昔は気になるご近所さんには、お隣りや町会で声をかけていましたが、最近では「放っておいて」と抵抗感を示されることも。生協の配達には毎週同じ曜日、時間帯に同じ担当が訪問します。「暑いですね～」「おすすめ商品ありますよ！」などのやりとりもあります。毎週の積み重ねがあるから、少しの異変に気が付きます。また、自治体との「見守り協定」があるからこそ、異変と感じた際に躊躇なく行政等の機関に連絡することができます。



地域の見守り役を目指して「見守り安心サービス」スタート!

2016年10月より、原則60歳以上を対象とした「見守り安心サービス」がスタートしています。

この「見守り安心サービス」は、定期配達便で組合員宅にお伺いした際の基本情報（在不在や注文有無など）を、ご指定の連絡受取者へ定期的に配信、離れて暮らす親族の方に安心を提供する仕組みとなっています。

先週の商品がそのままの状態玄関前に置かれていました。高齢者の1人暮らしだということは把握していたので何かあったのかと思いチャイムを鳴らしドアをノックした。応答がないため配送センターに連絡。配送センターから組合員に連絡したところ電話に出られ、1週間くらい体調不良で歩けず荷物も入れられなかった。今も体調がよくないとのこと。救急車を呼びますか?と、聞いたところ。息子がいるので連絡を取って欲しいとお願いされ、息子さんが直ぐに向かってくれるとのことになりました。

ご高齢の組合員宅に配達でお伺いした際、いつもご在宅されている方ですが当日はチャイムを押してもお返事がなく、シャッターも閉まった状態に違和感を感じてすぐに配送センターへ連絡。配送センターから地域包括支援センターに確認の連絡。数時間後、親族の方から「地域包括支援センターからの連絡でかけつけたところ、亡くなっていた。突然のことで気持ちの整理がつかない状況ですが、連絡いただいた配達の方に感謝します。」とのお言葉をいただきました。